



《題字・森神紫陽》

平成26年初盆のお家

喪主	続柄	故人名	命日	享年	出身	初盆の場所	
高原 幸吉	母	ウメノ	平成25年 7月21日	93歳	間庭	直川	上直見
御手洗豊喜	父	利夫	7月27日	83歳	椈ヶ原	直川	仁田原
川野真由美	長女	さやか	8月26日	15歳	堂師	直川	赤木
鳴海 龍	父	保	8月29日	88歳	尾浦	蒲江	畑野浦
三浦 學	妻	マサ子	9月17日	82歳	大鶴	直川	仁田原
中岡 潤子	夫	富男	11月10日	86歳	大鶴	大阪府	枚方市
河村 昌江	夫	明	11月20日	58歳	上ノ口	直川	下直見
立箱 幸子	夫	功	11月28日	82歳	立箱	広島市	南観音町
甲斐 和夫	母	ミチエ	11月28日	89歳	神の原	佐伯市	野岡町
永川 厚	母	政子	12月 8日	73歳	別府	別府市	鶴見
吉田 源蔵	姉	代志子	12月30日	74歳	尾浦	蒲江	畑野浦
小野 潔	母	幸子	平成26年 1月13日	81歳	神内	佐伯市	白坪
吉内 良金	父	音吉	1月16日	87歳	江河内	直川	下直見
鳴海 信吾	祖母	ハツネ	3月 6日	107歳	尾浦	蒲江	畑野浦
佐藤ミツエ	父	後藤東	3月 6日	84歳	中道	直川	正定寺
久保田忠義	母	安藤文江	3月10日	94歳	堂師	直川	正定寺
山口 高公	父	長田秀夫	3月20日	90歳	細川内	直川	仁田原
杉野 良雄	母	ハツエ	4月 6日	90歳	新中	直川	上直見
川股 久道	妻	ハルエ	4月20日	87歳	黒岩	佐伯市	下久部
山下 一博	父	昇	4月30日	90歳	岸の上	直川	仁田原
竹尾 良彦	父	育人	5月24日	89歳	川又	直川	上直見
平井 正和	母	カズエ	6月 3日	83歳	神内	直川	赤木
廣瀬 広美	伯母	金子八重子	6月12日	81歳	立箱	直川	赤木

7月21日現在（乍勝手敬称略）



盆月に入ると観音堂(位牌堂)は、盂蘭盆の飾り付けになります。正面の観音さまのそばには、初盆を迎える新ほとけの白木位牌が並びます。お盆中には、参拝者の方々がそれぞれ香を手向けていきます。

8月16日午前11：00からは、初盆家を始め遠地の檀家さんや都合でお参り出来なかった檀信徒の盂蘭盆調経を行います。



お盆號（第61號）

正定寺花園会広報

平成26年夏発行 発行所 一部単価135円(非売品)

世話人扱い：232戸 寺直轄扱い：156戸

〒879-3104 大分県佐伯市直川大字仁田原 寶林山正定寺内

TEL0972 (58) 2190 FAX0972 (58) 2192

URL <http://syoji.com/> e-mail shoji@saiki.tv

住職 小原南陽 閑栖 小原寿山

☆平成26年お盆参りの日程☆

始まりと終わりの時間はだいたいの目安にして下さい。（定時ではありません）

月 日	曜	日 柄	開始時間～	地 区
8月1日	(金)	盆入り	午前9時～	細川内⇒道の内⇒吹原⇒中津留（赤木）
8月2日	(土)	塚日	午前9時～	野の内⇒堂師⇒栗林⇒向船場
8月3日	(日)	友引	午前9時～	上の地⇒袖の原
8月4日	(月)		午前9時～	用來⇒天津留⇒下城⇒椈ヶ原⇒杭の内
8月5日	(火)	塚日・煤掃き盆	午前9時～	内水⇒寺の下⇒岸の上
8月6日	(水)		午前9時～	新中⇒久留須⇒川又⇒横川
8月7日	(木)	立秋・池替え盆	午前9時～	長野⇒立箱⇒市屋敷
8月8日	(金)		午前9時～	大久保⇒萱垣⇒大鶴⇒学校下⇒神内
8月9日	(土)	友引・井戸・墓掃除	午前9時～	竹の下⇒園⇒中津留⇒間庭⇒宇目⇒延岡 ⇒日向
8月10日	(日)	旧盆	午前9時～	神の原⇒江河内⇒水口⇒間⇒本匠⇒弥生
8月11日	(月)	花取り盆	午前9時～	黒岩⇒堅田⇒稲垣⇒鶴望⇒海崎⇒城南
8月12日	(火)		午前10時～	東町⇒野岡⇒女島⇒鶴岡⇒上岡⇒宇佐⇒別府
8月13日	(水)	草刈り盆・精霊迎え盆	午前10時～	賀来⇒田尻⇒光吉⇒高江⇒敷戸⇒鶴崎⇒臼杵
8月14日	(木)	孟蘭盆	午前10時～	畑の浦⇒尾浦⇒鶴見⇒稲垣
8月15日	(金)	友引・孟蘭盆・精霊流し	午前10時～	仁田原初盆⇒赤木初盆⇒直見初盆
8月16日	(土)	精霊送り盆・盆明け	午前11時	遠地各家の位牌堂諷経

お盆期間中のお知らせ

- ①本年も住職が全てお参りする予定ですが、葬儀・天候などで加担僧にお願いする場合があります。
- ②葬儀や天候の都合で日程を延ばす場合は、午前9時までに地区世話人様にご連絡致します。
- ③昼休み（昼食時）にお参りする場合がありますのでご承知ください。
- ④直川内で雨天（大雨）の場合、足袋・衣が濡れ、皆さまにご迷惑をお掛けしますので座敷に上がらず、草鞋・合羽でお参りを致します。（軒先でのお勤めを致します。）
- ⑤台風などの延期に伴い14日の地区が16日以降に成ることが有ります。
- ⑥留守の家は外からお経を上げさせて戴きますので、カギは閉めてお布施は近所にお預けください。
- ⑦1日～16日の間は、盆中のため本堂を会場にしての葬儀が出来ませんので葬儀の場合は「自宅」もしくは「斎場」で行うようにご協力ください。
又、伴僧（役僧）の手配が難しい場合がありますのでご了承ください。

水の華

なすび等の生野菜・米・小豆などを混ぜた物を「水の華」又は「水の子」と言いお墓に撒いてあげます。餓鬼道に落ちた亡者は、十分な食べ物を与えられず、体は痩せ細り、喉は極端に細くなっていると言われます。喉が細いので「水の華」は、食べやすいように細かく刻んでいます。又、水の華や線香は残っても決して持ち帰りません。ご先祖さまへの供物は、亡き父・亡き母への供物です。持ち帰ると、「もったいない」と言う欲心があるように思われるからです。親への恩返しに損得はありません。昔の人は、「残った「水の華」に餓鬼が付いて来るから」とそれとなく戒めていました。

留守墓参り

お盆の間、誰からも供養されない餓鬼がご先祖さまがいない留守の墓に寄りついているので、ご先祖さまの代わりに、浮かばれない霊に供養するのが「留守墓参り」です。自分だけではなく他の人も救いたいと願う心は、お盆の由来そのものの教えです。禅宗では「まず他の人を救い、その功德で自らも救われる」と言う法要が有ります。これを「施餓鬼会」と言います。「情は人の為ならず」の格言と同じです。正定寺も江戸時代は、7月1日～15日の間は施餓鬼棚を設けて供養がなされていたと記録が残っています。現在は月遅れの8月1日～15日に各家へのお参りになり、「施餓鬼会」は9月の彼岸に法要がなされています。

精霊流し

西方丸と書いた小船に供養の品々を供え15日の深夜に川や海に流す風習を「精霊流し」と言います。ご先祖さまの霊は、「送り盆」の16日夜明けに、東から昇る太陽と共に西の西方極楽浄土に無事にお帰りになると言われています。16日送り盆の夜明け、沖に昇るお日さまに間に合うようにと15日の深夜に流します。直川村では、16日の早朝(夜明け前)にお供えした団子や果物などを川へ木板に乗せて流すのが一般的です。

8月16日

送り盆

8月16日を「送り盆」と言います。15日に送る家もありますが正式には16日です。

茄子の牛

茄子に竹の足を付け牛に見立てて仏壇に飾ります。これを「茄子の牛」と言います。牛に乗って「ゆっくり戻って下さい。」と別れを惜しむ風習です。

土産の団子

浄土へお戻りになるご先祖さまの「土産の団子」は、少しでも多く持ち帰りが出来るようにと、平らに作ります。丸団子では積み重ねが難しいからです。又、多く担げるようにと「じがるい豆」と言う細長い豆もお供えします。この豆は、束ねたり又担ぎ籠の縄となるように持たせます。

送り火

16日の日没にお墓で松明を灯します。この火を「送り火」と言います。ご先祖がお帰りになる場所を示す目印の明かりです。歩くのが遅いご先祖さまも日が沈む頃には無事にお帰りになると言われています。京都の大文字焼きは「送り火」の事です。これで、3泊4日の里帰りが終わります。

知ってましたか?



盂蘭盆

8月14日・15日

8月14日と15日を盂蘭盆と言います。

「盂蘭盆経」と言うお経の中には地獄(餓鬼道)に落ちて苦しむ母を救うために、僧侶のお経と「飯・百味・五果」などの馳走を棚にそなえ、その功德を以て救われたと説かれています。

地獄での苦しみは、まるで「逆さ吊り」にされているような苦しみ(倒懸苦)と言われ、この「倒懸苦」をインドの言葉で「ウラバーナ」と言います。「盂蘭盆・うらぼん」の語源です。

私が修行道場にいた頃も、4月15日から7月15日迄の3ヶ月を雨安居と言ひ、その終わりの日(7月15日)を「僧自恣の日」と呼び、寺院では「施餓鬼会」が行われます。お盆の行事はこの仏さまの教えが基になっています。

精霊棚

お盆は特別に「精霊棚」を飾ります。「精霊棚」は、仏間の縁側に設けていました。

この棚を「施餓鬼棚」とも言います。和尚さんは「精霊棚」に向かって「お施餓鬼」のお経を唱えます。

今でも、お盆に和尚さんがお参りすることを「棚経」と言います。皆さんの中には、この「施餓鬼棚」でお迎えしていた頃を覚えている人は有りませんか。

納屋の隅にこの「施餓鬼棚」がある家は有りませんか。

お盆の正式な祀り方は、「施餓鬼棚(精霊棚)」を縁側に飾り付けるものでした。

生霊供

生霊供の材料とは、なすび・トウキビ・芋 瓜・洗米など火を加えずには食べられないものです。

これは、餓鬼道に落ちた者は、「食する物が全て火になる」と言われ、生米などの生の穀物を口にするると口元で火が加わりちょうど食べ頃になると言われるからです。

餓鬼はいつも口の中が燃えさかり、ノドが渇くとされています。水の力で「邪気を洗い流す・水で炎を消す・水でノドの渴きを治める」ところから、精霊棚には水が注がれた大きな器が備えられて、水が散けるようになっています。

又、この水を「アカ(閻伽)」と言います。中国の言葉で「供養」と言う意味です。お墓に水を散くのもこうした理由があるからです。

お供え

お供えは、年忌法要の時と同じように「お霊供膳」・「団子」・「菓子」・「果物」・「茶」・「湯」・「水」と共に、特別に灯笼提灯に見立てて「灯笼菓子」・「ホウズキ」、又畑で採れた「なすび・カボチャ・トウモロコシ等々」をご先祖さまに感謝を込めてお供えします。

平成26年 新春大寒大般若会

平成26年1月20日（月）午前11時より恒例の善月大般若会が180名の参拝者により行われました。午前9時から花園会役員（世話人・女性部・青壮年部・総代）がご加勢に来ていただき、好天に恵まれて無事に大般若を終える事ができました。

本年から新住職の導師で行われた大般若は、近隣の和尚さま11名の出頭を仰いで厳かに行われました。

出頭寺院は、
 宇目小野市…長徳寺和尚
 宇目重岡…長昌寺和尚
 宇目千束…崇圓寺和尚
 弥生江良…洞明寺和尚
 弥生床木…仙床寺和尚
 本匠因尾…瑞祥寺和尚
 蒲江丸市尾…梅南寺和尚
 蒲江西野浦…長江寺和尚
 佐伯稲垣…龍護寺和尚
 佐伯堅田…天徳寺和尚
 米水津竹野浦…潮月寺和尚
 の和尚さま方から賜りました。

又、檀信徒総会では、新成人のお祝いと米寿のお祝いが披露されました。



達磨係の世話人さま



大般若法要



役員 of 2番座



役員 of 2番座



参拝者



女性部 of 2番座



午前9時に集合した花園会役員の皆さまと接待を担当する女性部



お接待



役員 of 2番座



盛り上がるもち投げ



総代・篤志者の提供景品



景品係の世話人さま

京都本山妙心寺参拝

平成26年3月10日から12日まで二泊三日で「京都本山妙心寺参拝と伊勢神宮参拝」を13名でお参りしました。天候に恵まれ全ての行程を無事に終える事ができました。

1日目

直川↓大分空港⇩伊丹空港⇩京都東寺⇩二条城⇩南禅寺⇩国際ホテル

2日目

ホテル⇩本山妙心寺参拝（微妙殿先祖諷経・法話・方丈・法堂・仏殿・開山堂参観）⇩花園会館（買い物）⇩八つ橋庵とししゅうやかた⇩京都御所⇩鳥羽シーサイドホテル

3日目

ホテル⇩一見興玉神社・夫婦岩⇩伊勢神宮⇩伊丹空港⇩大分空港⇩直川

第7回本山団体参拝者は「加藤隆美 八千代夫妻・小野永生 公子夫妻・飛河浩美さん・久保田美津江さん・簀戸サヨ子さん・桜井久子さん・山田牧江さん・飛河満里子さん・戸高小恵子さん・閑栖和尚夫婦」の13名です。



弘法大師ゆかりの東寺



京都二条城



花園法皇の離宮玉鳳院で説明



本山和尚さまの無相大師開山堂の説明



本山妙心寺微妙殿



大本山南禅寺

春のお彼岸法要と初午会

花園法皇の「往年の宸翰」を
奉読なさる豊岳慈明和尚さま



今年、岡山県玉野市の
豊昌寺ご住職の豊岳慈明
和尚さまが「おかげさま

午後1時30分から本堂
で「春の本山妙心寺定期
巡教」が行われました。

4年前から初午会も同
時に行われ、観音さまの
そばにはお稲荷さんが安
置されて法要後は参拝者
に初午のお札が配られま
した。

檀信徒さまから供養さ
れた廻向袋を位牌堂（観
音堂）に納めてご焼香い
たしました。

平成26年3月22日（土
曜日）午後1時より観音
堂で春のお彼岸法要と初
午法要が50名の参拝者で
行われました。



彼岸法要の焼香

……父母の恩 今（ここ）
私のいのち……」と題し
てお話をして頂きました



お説教に聞き入る檀信徒



春の彼岸と初午法要



真剣な眼差し

平成26年度 花園会役員総会(世話人総会)



総代会・花園会事務局の報告

平成26年度花園会役員総会（世話人総会）が6月22日（日）午後7時から8時15分まで正定寺書院で行われました。

花園会長挨拶・住職挨拶に続き花園会事務局より平成25年度行事報告・収支報告が行われ監査委員による監査報告と進み、予算に掛かる説明も含み、平成26年度事業計画・予算が述べられました。いずれも質疑がなく全ての議事を無事に終えて最後は新役員の紹介で散会致しました。おかげさまで予定時刻よりも早く終わる事が出来ました。



花園会役員総会



お昼に引き続き女性部役員も参加



行事・予算に掛かる映像を流す

No.	氏名	参加役員	No.	氏名	参加役員
1	小原 南陽	正定寺住職	16	戸高 浅生	内水世話人
2	小野 永生	正定寺総代	17	簀戸 寅夫	岸の上世話人
3	御手洗晴視	正定寺総代	18	小野美智治	上の地世話人
4	安藤 廣美	正定寺総代	19	小野 浩伸	細川内世話人
5	村西 栄二	花園会事務局・会計	20	染矢 豊喜	柚の原世話人
6	安藤 康正	花園会会計監査	21	小野 寛	黒岩世話人
7	野村 浩史	花園会会計監査	22	久保田和博	大鶴世話人
8	小田木聖孝	花園会青壮年部部长	23	安藤 康正	神の原世話人
9	大竹 琴美	花園会女性部部长	24	武田 敏秋	神栗世話人
10	戸高 松栄	花園会女性部副部长	25	野村 浩史	堂師世話人
11	安藤いつ子	花園会女性部副部长	26	広瀬 茂弘	中道世話人
12	広瀬 芳子	花園会女性部事務局・会計	27	安藤 秀明	久留須世話人
13	林 美喜枝	花園会女性部会計監査	28	竹下 裕	竹園世話人
14	柳井 幾子	花園会女性部会計監査	29	吉内 良金	江河内世話人
15	甲斐久仁子	花園会女性部顧問	30	小原 壽山	正定寺閑栖

（乍勝手敬称略）



献茶と焼香



花園会役員の献茶会

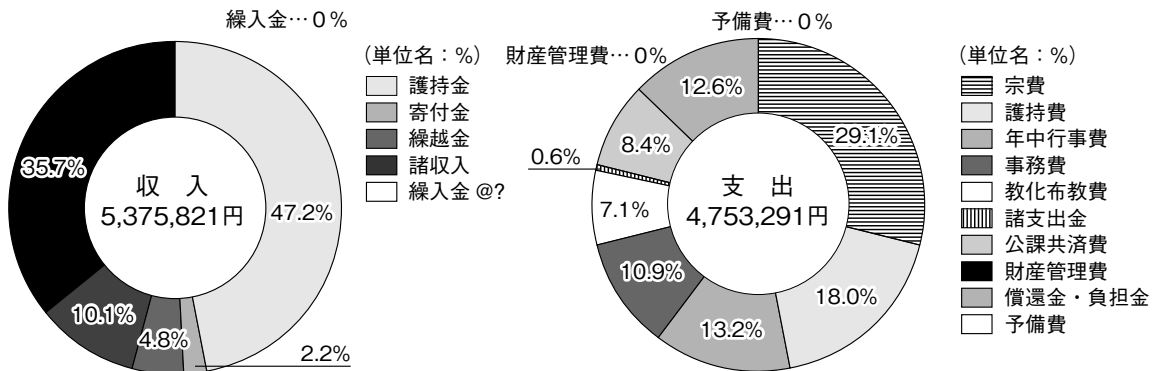
平成26年6月22日（日）午後7時から花園会役員会の皆さまと位牌堂（観音堂）でご先祖さまに新茶を差し上げる献茶諷経を行い、それぞれ役員が浄水（湯）を注ぎご焼香を致しました。

花園会役員献茶会

話が長い閑栖和尚

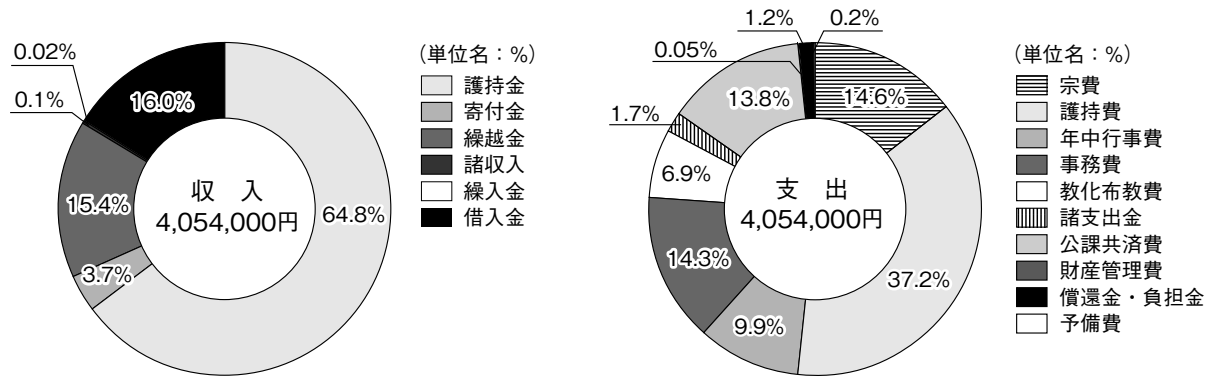


平成 25 年度 花園会会計決算



(収入合計) 5,375,821 円 - (支出合計) 4,753,291 円 = (差引) 622,530 円を平成 26 年度へ繰り越します。

平成 26 年度 花園会会計予算



詳細な金額をお知りになりたい方は、花園会世話人さまか花園会役員さまへお尋ね下さい。

3年前より東日本大震災花園会員見舞金として「1日10円を365日」の活動スローガンで被災地の復興を祈るペットボトル積み立てをお願いしていました。

5月に本山花園会本部に浄財金21,800円をお送り致しました。

花園会本部よりお礼状が届きましたのでご報告致します。

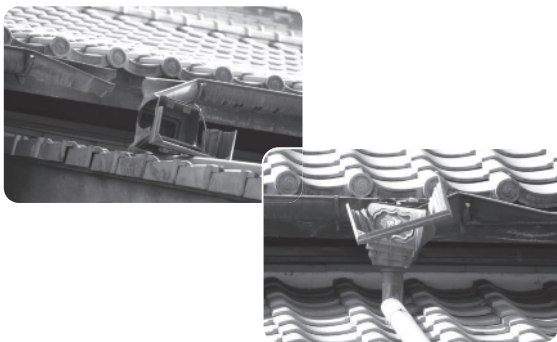
ご協力賜りました方々に心からお礼申し上げます。

正定寺花園会様



……礼状文……

ペットボトル義援金



平成26年2月13日～14日にかけて佐伯地方に多くの被害を出した大雪被害は、檀信徒の田畑や家屋にも多くの被害をもたらしました。

正定寺の本堂大屋根の銅板樋も数カ所に渡り破損して、多くのゆがみが出ました。

花園会26年度予算でお盆までに修繕を行う計画です。

大雪災害で壊れた「樋」の修理(復旧)

平成26年の献茶会と花園会女性部総会



献茶会参拝者

平成26年の献茶会と花園会女性部総会が6月22日（日）午後2時から行われました。33名の女性部参拝者と共にご先祖さまへ新茶のご供養と法要を行いました。書院では平成26年度総会が行われ、平成25年度事業・収支報告と次年度行事計画と予算が報告されました。

今年度は役員改選の年になりますので、事務局さんと会計監査さんが新たに役員としてお世話を頂く事になりました。

女性部募集

現在、花園会女性部会員は20代から90代まで70名を超える方々で成り立っています。発足して20年が経ちました。（皆さん今でも現役で正定寺を支えていただいています。）檀信徒の女性の皆さんで「高齢のお母さんの代わりに・亡き母の代わりに」と花園会女性部に入ってお寺の行事に参加してみたいと云う方を募集しています。（都合の良いときだけで結構です）

檀家さんのご家族であれば未既婚・年齢の関係なく参加できます。女性のお力でなければ出来ない仏さまへの報恩と晋山して間がない新住職を是非支えていただきたいと願っています。（閑栖和尚）



献茶法要



献茶法要



女性部総会



新役員自己紹介



総会前の一服



新役員自己紹介



総会前の一服



年中行事をプロジェクターで紹介

ごう 降 誕 会



今年の甘茶はいかがかな？

4月8日はお釈迦さまのお誕生日です。降誕会と言います。他にも灌仏会・仏生会・浴仏会・花祭などの名称で行事が行われています。皆さんは「甘茶」でおなじみだと思います。お釈迦さまの誕生に合わせて、龍が天から飛来して、香湯（ソーマ、アムリタ）をそそいだという言い伝えで昔から甘茶を誕生佛にそそぎます。甘茶はお釈迦さまの産湯です。この甘茶を無病息災のために飲んだり、硯の水に使うと「習字が上達する」とか家の周りに撒くと「まむし除け」



お寺参りが丁度降誕会でした



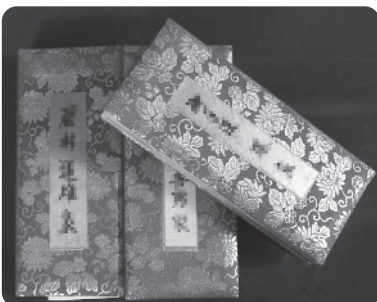
になると言われたりします。正定寺では毎年4月8日は甘茶を用意していますので、是非お参り下さい。今年も大勢の方が甘茶をいただいたかに来しました。



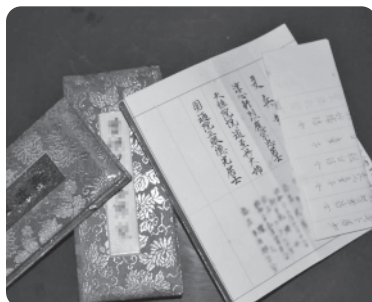
直川苑からもお参り



過去帳安置のお願い



位牌堂の過去帳



檀家さん各家の過去帳

お盆前の準備
位牌堂の過去帳の追加記載で自宅に持ち帰っている檀家さんは記載が終わりましたら8月16日までに位牌堂に安置して下さい。
お忙しい方や遠方の方は郵送・メール便・レターパックなどでお送り下さい。

第10回 正定寺杯 グラウンドゴルフ大会

平成26年3月22日（土）
午前10時より直川苑グラウンドで第10回正定寺杯グラウンドゴルフ大会が晴天の中行われました。

参加選手は30名ほどで慣れた方から初心者まで約2時間のプレーを楽しみました。

廣瀬芳子花園会女性部事務局さんの「開会の言葉」に始まり、大竹琴美花園会女性部部长さんの挨拶・山崎幸治直川苑施設長さんの歓迎挨拶矢野侃可さんの競技説明と続き、前回優勝者の戸高茂子さんの選手宣誓で競技が始まりました。

第10回記念大会優勝は下直見間地区の飛河浩美さんが獲得しました。

準優勝は仁田原大鶴地区の三浦伸一さまが、3位を上直見竹の下地区の

古元聖人さまがそれぞれ獲得しました。

又、最高年齢者男子に上直見久留須地区の矢野薫さんが女子は上直見向船場地区の星野延子さんが表彰されました。



矢野侃可さんの競技説明



戸高茂子さんの選手宣誓



五十川キミエさん・星野延子さん
河野豊美さん・矢野 薫さん



大竹琴美さん・古元聖人さん・
柴田スミ子さん・大畑記美代さん
飛田照子さん・小野シマ子さん



広瀬芳子さん・河野 林さん
小野波子さん・久保田キヨエさん
小野浩伸さん



簀戸美代子さん・三浦伸一さん
竹尾トモ子さん・戸高茂子さん
岡田千壽子さん・大司八郎さん



大畑利春さん・竹下好子さん
飛河浩美さん・安藤健辞さん



矢野侃可さん・飛田富江さん
柳井香代子さん・岡田喜敏さん
御手洗好子さん

大会のお接待



第10回記念大会優勝
飛河浩美（間）さま



第10回記念大会
準優勝
三浦伸一（大鶴）さま



第10回記念大会3位
古元聖人（竹の下）さま



男子最高齢賞 矢野薫さん



女子最高齢賞 星野延子さん



大竹琴美花園会女性部部長さんの挨拶

（正定寺杯大会 写真つづき）



正定寺A・Bチーム

平成26年3月1日（土）午後1時から第6回黄龍窟杯グラウンドゴルフ大会が行われました。会場は佐伯市海崎太平洋セメントグラウンドで広く大きな会場に早朝から願成寺役員がテントな

平成26年度 第6回黄龍窟杯グラウンドゴルフ大会

どの設営から駐車場の係りまでお手配を頂き、スムーズに大会を行うことができました。曇り空の中、雨が降らないのを祈って開会式を30分早めて大会が始まりました。

九州東教区第2部（佐

伯市内）の妙心寺派寺院から1チーム、3チームが参加いたしました。

正定寺Aチーム

- 1 古元聖人
- 2 大司八郎
- 3 矢野薫

正定寺Bチーム

- 4 小野浩伸
- 5 三浦伸一
- 1 矢野侃可
- 2 久保田キヨエ
- 3 竹下好子
- 4 飛河浩美
- 5 大畑記美代



九州東教区第2部参加者



お揃いのユニホームのBチーム



優勝を狙うAチーム



正定寺Aチーム 団体3位



団体3位 表彰